

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2019.04.No260

4月号

目次

平成31年 定時総会報告	1
新建築士免許交付式	3
道士会の動き	4
Coffee Break	5
地域貢献活動センター報告	6
特集 スペシャルインタビュー	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

平成31年(一社)北海道建築士会定時総会報告

定時総会開催 30年事業報告及び収支決算承認される

日 時：平成31年 3月22日(金) 14時30分～17時00分
会 場：ホテル札幌ガーデンパレス 2F 丹頂
(札幌市中央区北1条西6丁目)

出席者：代議員 36名中 29名出席

議 事

事務局より代議員の過半数が出席していることを報告し、総会の開催宣言の後、岡田光弘氏(旭川支部)が議長に選出され、また、議事録署名人として、池田浩司氏(札幌支部)と吉川政二氏(千歳支部)が選出された後、理事者側から第1号から第3号議案の提案及び説明があり、逐次審議を行った結果、いずれも原案どおり可決されました。

事務局



議 案

- 【議案第1号】平成30年 一般会計事業報告及び収支決算
- 【議案第2号】平成30年 特別会計事業報告及び収支決算
- 【議案第3号】胆振東部地震の発生により被災した会員の会費の免除について

議案第1号～3号の主だった内容は以下のとおり

◆平成30年 一般会計事業報告

『委員会所管事項』

◎ 総務委員会

- ・組織運営の適正化等に係る対応
- ・関係機関との意見交換会等の実施
- ・建築関係団体との連携
- ・専攻建築制度等に関する事項
申請(新規)：0名 (更新) 14名 14領域
必要に応じ評議会等開催
- ・建築士会継続能力開発(CPD)制度の促進
CPD参加登録者 855名
CPDプログラム評議会及び同部会の開催等
第43回全道大会(土別大会) 参加者 303名
第61回建築士会全国大会(さいたま大会) 参加者 95名
表彰の実施、赤レンガ建築賞への共催等

◎ 事業委員会

- ・「防水セミナー」の開催(協賛)
- ・「既存住宅状況調査技術者講習(新規・移行)」の開催
- ・「建築生産入門講習会」の開催
- ・「中大規模木造設計セミナー」の開催
- ・建築技術講習会テキストの配布(無償)

◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」(245号～256号発行)
- ・ホームページの運用
- ・全道大会分科会「北海道建築士号外」発行

◎ まちづくり委員会

- ・「まちづくりフォーラムin釧路」の開催
- ・「高校生建築デザインコンクール」の実施
- ・「高校生建築甲子園」の実施(応募0校)
- ・北海道景観整備機構の運営
- ・「景観まちづくり塾(小樽市)」の開催

- ・「北海道ブロックまちづくり会議」の開催
- ・全道大会分科会の実施

◎ 青年委員会

- ・「全道青年委員会連絡会議」札幌市開催：参加者 65名
- ・「青年建築士の集い」斜里町開催：参加者 71名
- ・ブロック協議会活動4ブロック協議会会議 計12回開催
- ・「青年サミット(全道大会前夜祭)」土別市開催：参加者 83名
- ・「社会貢献活動」新さっぽろアークシティ サンピアザ光の広場で開催
- ・「建築士の日のイベント」【建築のお仕事体験】等
参加者(一般市民) 1,200名
- ・全道大会分科会の実施

◎ 女性委員会

- ・各ブロック活動 勉強会・見学会等の開催を支援
- ・「女性建築士の集い(旭川市)」の開催 参加者 24名
- ・全道大会分科会の実施
- ・「地域における住教育実践推進事業」の実施
①「建築士による家庭科住教育出張講座」8校実施
②「建築士・教諭向け住教育セミナー(紋別市)」参加者 10名
③「建築士向けセミナーインテリアプラン作成講座」
参加者 6名

- ・連合会女性委員会への委員派遣

◎ 被災地応急支援委員会

- ・被災地応急支援ネットワークの構築
- ・応急危険度判定地区協議会への協力
- ・応急危険度判定訓練への参加
- ・机上訓練の実施 室蘭支部・釧路支部
- ・HUG講習会の開催 小樽支部
- ・防災読本の増刷

◎ 会員増強特別委員会

- ・建築士試験合格者セミナー・免許交付式の実施

◎ ヘリテージマネージャー特別委員会

- ・北海道ヘリテージマネージャー専門職養成講座事業
- ・ヘリテージマネージャー特別講座の開催

◎ 北海道建築士会ありかた検討会議

- ・北海道建築士会の今後あるべき姿の検討

【事務局所管事項】

- ・一級、二級、木造建築士試験の実施

試験種別	合格者(名)	合格率(%)	
		北海道	全国
二級	151	16.0%	25.5%
木造	1	9%	35.8%
一級	93	9.9%	12.5%

- ・一級、構造・設備設計一級建築士登録等の業務
新規 79件 事項変更等 175件 名簿閲覧 65名
- ・二級・木造建築士登録等の業務
新規 160件 事項変更等 203件 名簿閲覧 17名
- ・応急危険度判定士認定関係 12月末有効認定者数 2,814名
応急危険度判定士認定講習会 16会場開催 受講者 476名
- ・北海道建築士会震災建築物応急危険度判定士認定講習会
3会場開催 受講者 26名
- ・建築士定期講習 13会場開催 受講者 855名
- ・監理技術者講習の開催 6会場開催 受講者 130名
- ・「第51回建築基準法講習会」開催
全道 19ヶ所 : 受講者 1,251
- ・ドライクリーニング工場調査の協力
- ・「住宅の省エネルギー性能等の調査」の協力

◆平成30年 特別会計事業報告

◎ 北海道建築士会地域貢献活動センター

- ・応募及び審査・採点 2団体2事業 不採択
「恵北 赤レンガ通信所植樹祭」(宗谷支部)
- 「建築士とつろう 木工作・抹茶を飲んでみよう 茶道体験」
(十勝支部)

◎ 全国大会特別会計

- ・実行委員会の開催 (函館市 4回開催)
- ・大会実施計画案、大会設営・運営計画案の検討～作成
- ・第61回さいたま大会参加・視察・次期開催地アピール

◆監査報告

各事業報告及び収支決算(案)について、松崎監事(札幌支部)による監査報告が行われた。

◆平成30年 収支決算報告

貸借対照表

平成30年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会 (単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	61,035,629	62,103,892	△ 1,068,263
未収金	3,032,838	2,912,843	119,995
前払金	4,238,862	1,301,856	2,937,006
貯蔵品	940,678	1,006,010	△ 65,332
立替金	360,961	372,974	△ 12,013
前払費用	429,665	321,089	108,576
流動資産合計	70,038,633	68,018,664	2,019,969
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	8,220,533	7,730,379	490,154
財政調整積立預金	44,267,132	43,560,708	706,424
大会積立資産	0	0	0
特定資産合計	52,487,665	51,291,087	1,196,578
固定資産合計	52,487,665	51,291,087	1,196,578
資産合計	122,526,298	119,309,751	3,216,547
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	466,773	373,578	93,195
未払費用	48,875	3,424	45,451
前受金	5,605,960	5,462,880	143,080
前受会費	19,103,400	19,627,200	△ 523,800
預り金	1,718,569	1,742,397	△ 23,828
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	26,943,577	27,209,479	△ 265,902
2. 固定負債			
長期借入金	0	46,694	△ 46,694
退職給付引当金	8,220,533	7,730,379	490,154
預り出資金	0	0	0
固定負債合計	8,220,533	7,777,073	443,460
負債合計	35,164,110	34,986,552	177,558
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産合計			
負担金	△ 1,500,000	△ 1,500,000	0
寄付金	50,000	50,000	0
指定正味財産合計	50,000	50,000	0
一般正味財産	87,312,188	84,273,199	3,038,989
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(44,267,132)	(43,560,708)	706,424
正味財産合計	87,362,188	84,323,199	3,038,989
負債及び正味財産合計	122,526,298	119,309,751	3,216,547

正味財産増減計算書

平成30年1月1日から平成30年12月31日まで

一般社団法人 北海道建築士会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収益	64,360,584	64,944,800	△ 584,216
事業収益	21,524,414	24,410,431	△ 2,886,017
受託収益	28,846,605	24,595,720	4,250,885
助成金収益	8,232,862	6,843,318	1,389,544
退職給与引当金戻入	10,500	0	10,500
受取補助金等	0	0	0
雑収益	28,138,257	28,518,877	△ 380,620
経常収益計	151,113,222	149,313,146	1,789,576
(2) 経常費用			
事業費	117,145,986	117,730,910	△ 584,924
講習会等費	5,098,412	4,816,290	282,122
二級・木造建築士登録等業務費	849,720	806,405	43,315
継続能力開発制度費	299,866	340,345	△ 40,479
専攻建築士制度費	130,520	158,949	△ 28,429
その他事業費	3,459,830	3,612,114	△ 152,284
広報・情報費	6,962,820	6,942,097	20,723
大会関係諸費	5,262,088	5,501,278	△ 239,190
委員会活動費	13,631,886	11,994,041	1,637,845
受託事業費	23,900,798	23,513,992	386,806
助成金	8,547,789	8,325,672	222,117
助成金	852,991	3,118,661	△ 2,265,670
雑費	19,680,648	20,520,468	△ 839,820
管理費	28,468,618	28,080,598	388,020
人件費	30,427,593	29,705,500	722,393
会議費	4,019,484	3,913,377	106,107
旅費交通費	2,301,353	3,045,240	△ 743,887
旅費	5,941,103	4,603,312	1,337,791
対雑費	1,384,800	1,363,997	20,803
雑費	2,990,009	2,889,603	100,406
雑費	276,844	21,871	254,973
連合会費	13,514,000	13,867,800	△ 353,800
支部交付金	0	300	△ 300
経常費用計	147,573,579	147,436,410	137,169
評価損益等調整前当期経常増減額	3,539,643	1,876,736	1,662,907
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,539,643	1,876,736	1,662,907
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
退職給与引当金繰入	500,654	500,611	43
経常外費用計	500,654	500,611	43
当期経常外増減額	△ 500,654	△ 500,611	△ 43
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,038,989	1,376,125	1,662,864
一般正味財産期首残高	84,273,199	82,897,074	1,376,125
一般正味財産期末残高	87,312,188	84,273,199	3,038,989
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III 正味財産期末残高	87,362,188	84,323,199	3,038,989

◆会員の会費の免除について

胆振東部地震の発生により被災した会員の31年会費免除について、被害等相当の理由があるものと認められたため申請に基づき4名(苫小牧支部)の会費免除を行う。

◆報告事項

平成30年12月7日開催の平成30年第5回理事会において承認された平成31年一般及び特別会計事業計画及び収支予算について、事務局より主な内容を報告した。

◆東西アスファルト事業協同組合様へ感謝状を贈呈

総会前に平成30年に当会へ200万円の助成金をいただいた東西アスファルト事業協同組合様へ感謝状の贈呈式を行いました。



平成30年度 一級・二級建築士免許証明書交付式

北海道の合格者 一級93名 二級151名



平成30年度の一級建築士合格者は、全国で3,827名、内、北海道では93名。二級建築士は全国で5,997名、内、北海道では151名が合格されました。

2月23日(土)に一級建築士(参加35名)、1月26日(土)に二級建築士(参加14名)の免許証交付式が札幌ガーデンパレスにてそれぞれ開催され、合計49名の新建築士が全道各地から出席されました。遠くは、釧路・函館などからの参加もありました。

今回、一級建築士の道内合格者数はこのところ数年の60名前後を大きく上回る93名が合格。二級については試験予定日の直前に胆振地方東部地震が発生。その影響のため北海道の試験のみ延期されるというアクシデントを跳ね除けて151名が合格されました。

両日とも最初に高野会長から合格のお祝いと建築

士が求められていることについてお話がありました。

続いて長谷川統括理事を講師にセミナーが行われ、1部の倫理編では主に建築士の業務について、2部の実務編では北海道の建築知識や基準法の改正、北方住宅の現状と今後についてのお話があり新建築士の皆さんは熱心に聞かれています。

授与式では一人ひとりに高野会長から免許証明書を手渡され、みなさん喜びをかみしめている姿が印象的でした。

授与式の後、一級交付式では、北海道建設部住宅局、長浜局長から、二級交付式では、北海道建設部住宅局、西澤建築指導課長からお祝いの言葉と活躍を期待しますとのメッセージを頂きました。

最後に石川事務局長よりお祝いと建築士会活動のPRがあり和やかな雰囲気の中、閉会いたしました。



祝辞 左 長浜局長 右 西澤指導課長

取材・写真

一級交付式 情報委員会委員長
齋藤 勝哉
二級交付式 情報委員会委員
片岡 哲二

平成30年度 北海道知事表彰(建設部所管) 北海道産業貢献賞 受賞 石川 吉博 氏

本会からは26年ぶりとなる知事表彰に北海道建築士会及び旭川支部相談役の石川吉博氏が受賞され、平成31年2月6日北海道庁知事会議室において授賞式が執り行われました。平成20年より建築設計・監理業に従事し、建築確認・検査業務に携わるなど、本道における安心・安全な建築やまちづくりに貢献され、関係団体の団体役員として長年業界の発展に功績があったため今回の受賞となりました。

3月11日札幌グランドホテルにて、祝賀会が盛大に執り行われ、当日は、多数の会員の方が出席し受賞をお祝いいたしました。



後列左から三人目 石川氏



取材・撮影 情報委員会委員長 斎藤 勝哉

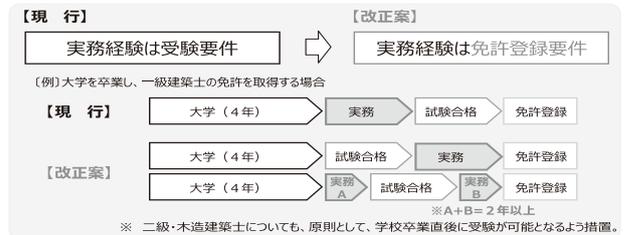
事務局からの情報提供～建築士法改正による建築士受験資格の見直し

2018年12月14日に改正建築士法が公布され、建築士試験の受験資格が見直されました。2年以内の施行が予定され、早ければ2020年の試験から適用になることも考えられます。

改正の内容は、必要な学歴となる大学などを卒業し、その後必要な実務経験を積むことが受験要件となっておりましたが、改正により必要な学歴要件を満たす大学などを卒業した時点で、受験資格が与えられます。試験合格後に必要な年数の実務経験を積んだ時点で、建築士の免許登録、資格の取得ができることへと変わります。

ただし、今回の改正では学歴要件を満たしている場合について見直しされており、二級・木造の場合、実務経験のみ(7年以上)で受験するときは、受験時点で要件として7年以上の実務経験を積んでいることが必要です。

今回、「実務経験は受験要件」から「実務件数は免許登録要件」に改正されることから、受験可能時期が早まり、受験機会が拡大、促進され若い建築士が増えることが期待されます。



平成31年度 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

応募対象

- ①対象建物 平成27年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員(応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります)
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切

平成31年5月17日(金) 必着

応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- ②提出資料 図面(平面図・断面図・配置図等)及び完成写真(内・外装)等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。(応募作品は返却しません)

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.265」に掲載します。※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。



昨年の作品

富良野支部 45年目の仕事です。

事務局長
中村 勝利



支部創立の年に準会員で入会し、事務局員として45年目を迎える。17年前に事務局長となり、3年前定年を機に次の世代へと引き継ぐ予定でいたが、今年度末の改選迄伸びてしまった。今年は「終活？」開始の年である。数年前より気になっていたことがある。

これまで10年を節目に創立を記念し事業を行っているがその中で、10周年目に「朝日ヶ丘総合公園」と呼ばれる場所に市のシンボ

ルである木と花「イチイ」「エゾムラサキツツジ」を（本数不明）記念植樹している。参加した記憶もあり、当時の記念写真にも写っているのも間違いのないのだが、資料の保存も無く景色は様変わりし、記念に立てた標柱も朽ち果てたかその姿は無く、場所が特定できていない。最近、40年ほど前に撮影された公園付近の航空写真を見つけ、当時の記録写真やら最近撮影された航空写真データを比較しながら位置を想定してみた。今は雪のため春を待って搜索を開始し、当時植樹に参加し、標柱の前に映り込んだ11名の内、「生存



植樹記録(S.59.5.18撮)

者？」6名の記憶を頼りに、標柱を改めて打ち直し、記録として後の会員に引き継げればと思いながら会誌最後の寄稿と致します。

別の年にアカエゾマツ200本も植えた記憶もあるのだが……

網走支部 新しい時代ともの作り

事務局長
山口 悟



網走支部では、青年部を2015年より活動を復活して、事業活動を行っています。建築模型作りなど、子供たちも参加して盛り上げています。

全道大会が網走で26年振りに2020年9月に開催されます。

（前回の開催は1994年、H6年）平成の年号も終わりに近づき新しい年号の最初の全道大会になります。

今、準備委員会で会議を続けています。前回の開催時とは時代も人も、街の環境も大きく変わりましたが、みんなで知恵、力を合わせて準備していきたいと思えます。

「建築士の日事業」の一つとして、ビールパーティ、巣箱作りを保護者と子供たちが一緒に制作作業を行いました。子供14名、会員含めて約25名、共同作業で、親子の触れ合いを通して「もの作り」の楽しさを体験してもらいました。

釘を打てるだけのキットを、日頃から「もの作り」に携わっている会員が参加者に釘打ち、組み立

てのサポートをしました。子供たちは少しずつ形になって完成していく巣箱に興味深いまなざしで見せていました、保護者のお父さんも日頃の腕自慢を見せる時とばかり夢中に手伝っていました。

この経験を通して将来、建築のもの作りの仕事に就いてもらいたいと期待しています。

チャリティビールパーティを開催して益金の一部を寄付しています。

高齢者施設慰問活動として音楽コンサートの支援を続けています。

東西アスファルト事業協同組合 組合員紹介

株式会社 シーフア

(旭川市忠和)

代表取締役
石田 巧



弊社は、旭川市を拠点に防水工事、塗装工事、塗床工事などを営んでおります。お客様のニーズを第一に考え、適切で最

良なご提案ができるよう、常に心掛けております。旭川周辺地域は特に四季の寒暖差が大きいため、防水層にかかるストレスも大きいと考えられます。建物の利用用途や立地条件、工事における制約など、多角的な観点から最良の一手を打つことは大変難しいことですが、非常にやりがいのあることとも感じております。

東西アスファルト事業協同組合の一員として、あらゆる防水技術に精通することを模索しながら、設計図書内容を現場で確実に具現化すること、より質の高い工事をお施主様にご提供し続けられるよう、精進して参ります。

TEL : 0166-73-3310

株式会社 シオン

(札幌市白石区)

代表取締役社長
菅井 潔



弊社は昭和35年11月に設立し、2020年に創業60周年を迎えます。創業者・関口功四郎の「信・望・愛」の精神を基本理念とし、「会社の働きを通して社会に貢献する」という創業目的を達成するため、これからも「良い仕事」をしていく所存であります。

また弊社の強みと致しましては改修工事に特化し、防水工事に留まらず、塗装やシーリング、アスベスト工事など幅広い工種に対応することで建物をトータルメンテナンス出来ることにあります。それぞれの工種には専門のスタッフがおり、迅速且つ確実な対応と充実した監理体制を確立しております。現場調査や建物に応じた提案・見積りなど、皆様の日常業務に一助になれば幸いに存じます。

TEL : 011-873-4151

地域貢献活動基金助成事業 琴似中学校で「Doはぐ」開催

常務理事 牛田 健一（札幌支部）

子供が卒業してもう16年になりますが、まだ《琴似中学校平成おやじの会》にOB会員として残り仲間に入れてもらっています。

昨年11月に参観日の一日講師として、北海道建築士会作成の防災マニュアル《守ろう命》を使い授業を行ったところ、12月におやじ達と先生の皆さんが防災教育の必要性から「Doはぐ」の研修を行いたいとの話になり、「経験が有るのでお手伝いします、建築士会の仲間も呼べますよ」と言ったところ、話がトントン拍子に進み冬休み期間中の1月12日に開催となりましたが、開催までの準備期間が短くて北海道建築士会の委員会としての対応は難しく、私と有志4名で対応する事とし、北海道建築士会の協力もいただく事としました。



平成おやじの会会長挨拶

当日は、先生7名、おやじ9名、PTAから1名、まちづくりセンター2名、建築士会から5名計24名が4つのグループに分かれ、琴似中学校校舎を避難所に設定して研修を行いました。



このカードの人は…だんだん真剣になってゆきます

ゲーム開始にあたっての説明と、本日のゲーム条件説明の後ゲーム開始。

約90分の時間の中で、テーブル毎に進み具合は異なりましたが、予定通り初動期の災害発生・避難所設置から、初日夜のカード140枚程度まで終わらせる事が出来ました。



一番遅いテーブルでも130枚まで終了

参加者の感想としては、「体験した事が無かったので良い経験でした」、「最後のカード250枚まで終わらせてみたい」、「実際に避難した場合、この経験が無ければ運営側へ不満をぶつけてしまっていた」、「多くの問題を短時間で処理するのは大変な事と分かった」、「多くの方にこのゲームを体験して貰いたい」等でした。



各テーブルからの発表の様子

今回の参加者は、避難所となった校舎の事を良く理解しており、体育館や教室の使い方もグループによる差が少なく似た様な結果に成りました。

建築士会からのお手伝いは無償でお願いしていましたが、北海道建築士会地域貢献活動センター地域貢献活動基金助成の申請をしたところ認めて頂き、お手伝い頂いた皆さんへ交通費と十分とは言えない謝礼をお渡しできました。この場を借りてお礼申し上げます。

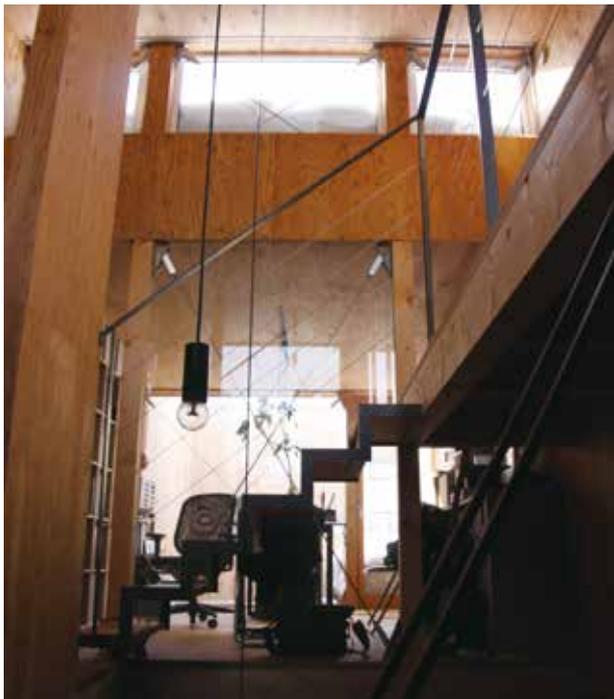
スペシャルインタビュー

平成30年日本建築士会連合会賞優秀賞

ほっこり
「北光の家」(杉山友和氏)

情報委員会副委員長 早川陽子 (小樽支部)

日本建築士会連合会賞会員作品展は平成30年に46回目を迎えました。全国から81点の応募があり、見事、優秀賞を受賞された杉山友和氏（札幌支部、一級建築士事務所アーカイヴ）を訪ね、受賞作を語っていただきました。



2階ホールから見上げた中3階の仕事場

——受賞おめでとうございます。北海道士会からの快挙ですね。約4ヶ月が過ぎ、今のお気持ちは。

杉山 自身が設計した作品がこのような評価をいただき、大変嬉しく思うとともに、大変恐縮しています。これまで自分が設計に関わってきた中で、この受賞がひとつの節目になるのではないかと考えています。

自邸は狭小地を最大限に生かした設計

——幾つかの厳しい条件の中、平面、断面計画の特徴を教えてください。

杉山 家族の足を考え地下鉄沿線を探した結果です。狭小地ゆえ価格を抑えられた事や近隣に病院がある事も魅力でした。制限されたボリュームを最大限に生かした設計を試みようと思いました。

間口4.75m、奥行18.18mの敷地、両側にあるアパートの間隙のような空間に、生活に必要な空間をスキップフロア形式3層で構成しました。

(1階：玄関、寝室、浴室、中2階：リビング、2階：ダイニング、キッチン、中3階：仕事場、3階：

寝室) 2つの外部空間(テラス)は採光、通風だけでなく生活空間の広がりを感じさせてくれます。

——スキップフロアは解放的で気持ちの良い空間ですね。住まい方で大切にされた事は何でしょうか。

杉山 自分と家族のライフスタイルです。スキップフロアによるほとんど仕切りの無い空間では、家族(夫婦と子供2人)が程よい距離感でお互いの存在を感じながら生活しています。

吹き抜け廻りはステンレスブレースで耐震性とデザイン性の両立を

——建物の竹まいは金属板のボックスでとてもインパクトがあり、構造や材料への拘りがありそうですが。

杉山 木造在来軸組工法3階建てです。いつもは設計の初期段階から構造設計者と打ち合わせながら進めるのですが、そうなる建築が合理的になってしまいそうで、今回は平面・断面が確定してから打ち合わせしました。短辺方3.2mは、吹き抜け廻りにステンレスブレースで耐震性を確保しました。

長辺方向は約16m、建物が近接している為ほぼ無開口の合板壁とし、建物全面の壁内部に圧縮筋交いを設けました。外壁は高耐食めっき鋼板の素地0.8mmを使用しましたが、コストを抑える為に特寸の材料は使わない、市販金物を採用しています。構造設計の方、施工会社の大きな努力に感謝しています。——建築は多くの人携わるので良い人材との出会いも大切ということですね。これからの展望は。

杉山 この建物は築3年目です。暮らしながら空間造りの可能性と方向性が見えてきました。建築士会ではヘリテージマネージャー特別委員会所属なので土地の歴史、文脈を大切に現代の新しい建物を創造してゆきたいと思っています。



外観



スキップフロアは子どものスペース

取材日：2019年2月12日(火)

写真撮影：情報委員会委員長 斎藤 勝哉

平成31年 専攻建築士認定状況

3月8日(公社)日本建築士会連合会専攻建築士認定評議会にて、下記の通り認定されました。

新規申請 2名(3領域) 更新申請 2名(2領域)
専攻建築士総数(北海道) 144名(170領域)

※2020年専攻建築士申請受付は、2020年1月6日～2月29日を予定しています。

講習会のご案内

監理技術者講習

4月17日(水) 札幌市

※WEBでのお申込みが簡単です。

平成31年第1期建築士定期講習

6月5日(水) 札幌市 6月18日(火) 旭川市

6月26日(水) 北斗市

※WEBでのお申込みが簡単です。

「建築生産入門」講習会

5月23日(木) 札幌市

既存住宅状況調査技術者講習

新規：6月12日(水) 札幌市 6月13日(木) 北斗市

6月14日(金) 旭川市

移行：6月21日(金) 札幌市

上記講習会について同封の案内書及び(一社)北海道建築士会HPをご覧ください。

道士会の動き

道本部の主な会議報告(3月)

◆第1回理事会

〈開催日〉3月11日(月)

〈議題〉※議題はすべて承認済

- 1) 平成30年一般会計収支予算の補正及び流用(案)
- 2) 平成30年一般会計事業報告及び収支決算(案)
- 3) 平成30年特別会計事業報告及び収支決算(案)
- 4) 平成30年全国大会特別会計事業報告並びに流用及び収支状況(案)
- 5) 平成31年定時総会の開催(案)
- 6) (一社)北海道建築士会会長表彰
- 7) (一社)北海道建築士会継続的な能力の開発の促進に関する規則(建築士会CPD規則)の改定(案)
- 8) (一社)北海道建築士事務所協会申出の事務所移転
- 9) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)

編集後記

平成31年もあと一ヶ月あまりとなりました。5月には新しい年号となり、平成時代は終わります。建築士会の入会は昭和63年入会なので、平成は私の建築士会活動とともにありました。職場からの半ば強制的な入会で始まり、支部青年部、全道青年委員会、本部まちづくり委員会、本部情報委員会とたくさんの仲間めぐり合い充実した30年間でありました。

あと一ヶ月で平成が終わります。振り返って、みなさんの平成時代はどうでしたか。

情報委員会 熊谷 智(苫小牧支部)

◆第1回まちづくり委員会

〈開催日〉3月16日(土)

〈議題〉1) 平成30年事業報告・決算報告、平成31年事業計画・予算

◆第1回被災地応急支援委員会

〈開催日〉3月16日(土)

〈議題〉1) 平成31年事業計画

◆第1回事業委員会

〈開催日〉3月28日(木)

〈議題〉1) 改正建築士業務報酬基準「説明会」開催

道本部の主な行事予定(4月)

6日(土) 第10回全国大会実行委員会

13日(土) 第2回青年委員会

27日(土) 第2回総務委員会

建築士試験関係

申込書は各支部で配布いたします。

配布期間 一級 4月5日～5月13日

二級・木造 4月1日～4月22日

一級建築士試験

学 科 7月28日(日)

設計製図 10月13日(日)

対面受付 札幌市

5月9日(木)～13日(月)

(〳) 函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市・北見市

5月10日(金)・13日(月)

二級建築士試験

学 科 7月7日(日)

設計製図 9月15日(日)

対面受付 札幌市

4月18日(木)～22日(月) 5日間

(〳) 函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市・北見市

4月19日(金)・22日(月)

木造建築士試験

学 科 7月28日(日)

設計製図 10月13日(日)

対面受付 札幌市

4月18日(木)～22日(月) 5日間

(〳) 函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市・北見市

4月19日(金)・22日(月)

CPD認定プログラム(3月認定)

認定プログラムはありませんでした。

情報委員会委員長/斎藤 勝哉

副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁

委員/熊谷 智・柏倉 晶憲

村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.260号

印刷 平成31年3月/発行 平成31年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地

大五ビル

電話 (011)251-6076番

URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎

〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目

電話 (011)811-7151番